

2026

6

June  
No. 400

広  
報

ふくしま

福島県  
大沼郡  
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

5月28日、ふくしまディステーションキャンペーンに合わせ特別運行される観光列車「あいづ SATONO」に手を振る三島小学校の子どもたち

# 「本物に触れるオペラコンサート」

5月7日、教育委員会主催による小・中学生と地域の方を対象としたコンサートが三島中学校で開催されました。地域の方を含め多くの方が本物の芸術に触れる貴重な機会となりました。

当日は、オペラ曲に加え、文部科学省唱歌の「海」「富士山（富士の山）」「このぼり」、さらに三島小学校・三島中学校それぞれの校歌も披露されました。

秦さんからは「楽曲分析をとおして、曲に込められた情景を考え表現すること」の大切さが伝えられ、小・中学校の先生によるピアノ伴奏の印象の違いや、小向中学校長との二重唱、参加者全員での合唱による表現の違いを意識しながら、聴くだけでなく、交流と学びを深める、三島町ならではの温かなコンサートとなりました。



▲ 子どもたちからの記念品贈呈



▲ 秦さんと小向中学校長、子どもたちの合唱

# 秦茂子さんから三島町の皆さんへ

学校で習う曲を多く取り入れ、皆さんと一緒に歌えるよう構成しました。多くの方と交流できたことは、とても貴重な経験となりました。今後も三島町を訪れる機会がありましたら、小さなことでも皆様と一緒に楽しみながら交流を深められる和やかな場を設けられれば幸いです。

また、今回のような取り組みは子どもたちにとっても大変良い機会ですので、今後もぜひ協力させていただきたいと思います。



## 秦茂子さん略歴

三島町大石田出身。  
 国立音楽大学卒業、昭和音楽大学大学院オペラ科修了。  
 1998年 関西フランス歌曲コンクール1位入賞。  
 2001年 渡仏。パリ国立高等音楽院を満場一致の首席で卒業。同音楽院第三課程で研鑽を積む。  
 2003年 ブローニュ・ピランクール・ロータリーコンクールにて2位入賞。  
 2005年 エクサンプロヴァンス音楽祭アカデミーに参加。  
 2007年 リリ・ナディア・ブルーランジェコンクールにて1位入賞。  
 2008年 エコール・ノルマル音楽院高等演奏家ディプロマ取得。  
 2009年 トゥールーズフランス歌曲コンクールにてデュオ賞受賞。  
 現在はフランスに在住し、パリ19区音楽学校で声楽の指導も務めている。

ソプラノ歌手として世界を舞台に活躍する大石田出身の秦茂子さんの一時帰国に合わせ、三島保育所、宮下活性化センター、三島中学校の3会場でコンサートが開催されました。

世界で活躍されている方との交流や、「本物に触れる」体験をとおして、参加された皆さんが何かを感じ取り、未来につなげてくれることを願います。

# 「秦茂子さんと歌おう」

5月1日、教育委員会主催による、「歌うことの楽しさと、フランスのことを教えてもらおう」をテーマにしたコンサートが三島保育所で開催されました。

このコンサートは昨年が続いての開催で、今年も秦さんが子どもたちと一緒に歌いながら交流しました。また、現在生活しているフランスでの暮らしや文化についても紹介し、子どもたちは興味深そうに耳を傾けていました。



# 「秦茂子さんアカペラコンサート」

同日夕方には、三島町商工会女性部主催によるコンサートが宮下活性化センターで開催されました。

地元の方々が会場を埋め、中央で歌う秦さんの歌声を楽しみながら交流を深めました。また、当日誕生日を迎えた参加者を祝う場面もあり、秦さんを交えて会場全体で歌い、温かな祝福に包まれ、ふるさと三島町ならではの地域とのつながりを感じるコンサートとなりました。

コンサートでは、秦さんから「歌に込められた情景を意識し、それを表現することが歌手の力」とのお話もあり、参加者はその言葉に耳を傾けながら、本物の歌声が持つ豊かな表現力に感動していました。



▲ 参加した方の誕生日を祝い、「お誕生日の歌」を会場の皆で歌う様子

## 三島町商工会女性部 諏訪 静枝部長より

三島町商工会女性部では、「本物に触れる」をテーマに事業を企画し、お茶を飲みながら一緒に笑い、歌い、楽しめる交流の場として今回のコンサートを開催しました。

町では、日常の中で本格的な芸術に触れる機会が限られていますが、今回の催しがきっかけとなり、秦茂子さんのように、将来世界で活躍する子どもたちが育ってくれることを期待しています。

ソプラノ歌手・秦茂子さん交流コンサート  
 ふるさと三島町に響く

第3回

# 「きずなスポーツフェスティバル」 (保小中合同運動会) 開催

## つなごうきずな！かがやけ三島っ子！笑顔の花をさかせよう！

5月23日に教育委員会主催の第3回「きずなスポーツフェスティバル（保小中合同運動会）」が三島中学校校庭で開催されました。快晴の下、町民約200人が参加し、元気いっぱい競技を楽しみました。

「元気玉運び」や「天下分け目の綱引き」・「大きなかぶ式ダンシング玉入れ」・「三島っ子リレー」など、保小中の子どもたちと保護者が一体となって挑む競技では、今年も熱戦が繰り広げられました。

子どもたちが中心になって創り上げた「きずなスポーツフェスティバル」は、子どもたちの自主性を活かし、目標に向かってチャレンジする気持ちを育て、子どもと地域の方々との交流を深め、地域を巻き込んだ生涯スポーツの意識向上と推進を図ることを目的に実施されています。



▲ 青空の下、子どもから大人まで、参加者皆が競技に一生懸命取り組みました



# 桐の里ウォーク2026 ～只見線にみんなで手をふろう～

5月16日、雲一つない青空の下、第9回目の「桐の里ウォーク 2026 ～只見線にみんなで手をふろう～」が教育委員会の主催で開催されました。

当イベントは、健康づくりと町内外の方との交流を図ることを目的に実施していますが、今回は新たに、三島町の魅力発信を図るため、「～只見線にみんなで手をふろう～」をテーマに、コースの一部を変更して開催しました。現在、福島県で実施されている「ふくしま DC」に合せ、3つのアーチ橋を一緒に見ることができる「アーチ三兄弟（橋）」と会津宮下駅前のテレサ・テンさんの歌碑を巡る新コースを歩きました。また只見線の通過に合わせ、会津西方駅では参加者が手を振ってお見送りをしました。

5月としては暑いなか、333名の参加者の皆さんは、三島町の新緑を楽しみ、ゴール後には、お楽しみ抽選会のほか、地鶏汁、会津地鶏の焼き鳥など、いろいろなおもてなし料理を堪能していました。



▲ 会津西方駅で只見線に手を振る参加者



▲ 出発前の準備運動をする参加者



▲ ゴール後におもてなし料理に並ぶ参加者

## 仲間と挑んだ全会津中体連陸上大会！

5月12日からの3日間、全会津中体連陸上大会が、あいづ陸上競技場で開催されました。

大会に臨む生徒たちからは、それぞれが胸に秘めたさまざまな思いがうかがえましたが、どの生徒も日頃の練習の成果を発揮し、競技後には達成感に満ちた表情を見せていました。

大会では、仲間を思いやる優しい姿や、競技前に互いを支え合う姿、懸命に応援する姿など、生徒同士の絆の深さが見られました。

6月2日と9・10日は総合大会が開催されます。卓球、剣道、バレーボールの各競技に参加する生徒が、日頃の練習の成果を発揮し、力の限り頑張りますので、今後とも練習へのご支援と温かい応援をよろしくお願い致します。



▲ 終了後、会場のあいづ陸上競技場での記念撮影

## 「風とロック CARAVAN 福島」三島町で2回目の開催

5月23日、交流センター山びこで「風とロック CARAVAN (キャラバン) 福島」の公開生放送が開催されました。三島町での開催は、2016年5月に森の校舎カタクリで開催して以来10年ぶりとなりました。

「風とロック CARAVAN 福島」は、郡山市出身のクリエイティブディレクター<sup>やないみちひこ</sup>箭内道彦氏が2013年12月に放送を開始し、県内各地で月1回程度、2時間の公開生放送を実施しています。当日のゲストによる約1時間のアコースティックフリーライブも行われ、多くの来場者でにぎわいました。

トークイベントには、町から矢澤源成町長<sup>じよせんい</sup>、徐銓軼さん、工房あかるむの志田明恵さんが登壇しました。箭内氏とTHE BACKHORNの松田晋二氏とともに三島町の魅力や、これからの三島町について語り合いました。



▲ 壇上のトークイベントの様子



▲ トークイベント後のフリーライブ

## 【高清水】新たな三島町地区広報員に委嘱状

4月24日、町長室において、高清水地区の新しい地区広報員（広報みしま町民記者）として、小柴高雄さんに委嘱状が交付されました。

委嘱状の交付を受けた小柴さんは、「地区の活動や町内の出来事を、広報を通じて皆さまにお知らせしていきます」とあいさつされました。

今後は高清水地区を中心に、町内のさまざまな活動取材し、地域の出来事を伝えていただくことが期待されます。



## 「春のおもてなし」で三島町をPR

JR東日本(株)や会津鉄道(株)と協力して実施する「春のおもてなし」が今年も開催されました。

5月3日は「風っこ只見線満喫号」に乗車し、JR只見線会津柳津駅から只見駅まで、また、5月4日は「お座トロ展望列車」に乗って、会津鉄道西若松駅から会津田島駅まで、新緑の景色の中を走る車内で、三島町のPRや特産品販売を行いました。

会津を訪れた観光客のみなさんにも好評をいただき、三島町を知っていただく良い機会となりました。



## 20歳の自分へ ～岩倉山鬼子母神例大祭の日の思い出～



▲ 左から二瓶教香さん、飯塚真林さん、五十嵐望さん

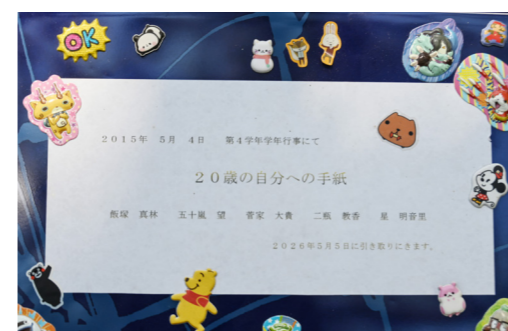
西方地区で鬼子母例大祭が開催された5月5日、今年成人を迎える町の若者にとって、思い出深い行事が行われました。

11年前の2015年5月、当時小学4年生だった飯塚真林さん、五十嵐望さん、菅家大貴さん、二瓶教香さん、星明音里さんが、20歳の自分へ宛てた手紙を封入した箱を、岩倉鬼子母神本堂に納めました。

鬼子母神例大祭が開催された5月5日、今年成人を迎える5人のうち、当日集まることができた3人がその箱を引き取りました。

2026年5月5日に開封することを誓って保管されていた箱には、5人それぞれの思いをつづった手紙が入っており、当時は懐かしみながら思い出話に花を咲かせていました。

参加した3人からは、「今日の日をわくわくしながら待っていました。『二十歳を祝う会』で5人そろって手紙を開封し、中身を確認するのが楽しみです」との声が聞かれ、10年以上の時を経て開封される“小学4年生の自分”からの手紙に思いをはせながら、8月の「二十歳を祝う会」を心待ちにしている様子でした。



### 佐久間建設工業株式会社からご寄附がありました



▲ 左から佐藤岩男社長、矢澤町長、佐久間源一郎会長

5月26日、佐久間建設工業株式会社（佐久間源一郎会長、佐藤岩男社長）様より、町と、日本赤十字社（福島県支部三島町区分）に対し、ご寄附をいただきました。

町ではいただきました寄附金を、地域活性化事業など、住民福祉の向上と地域振興に資する施策のため、有効に活用させていただきます。

### 町民記者通信



#### 【宮下】無火災祈願祭行われる～1年間の無火災・無災害祈る～（4月11日）

小島 純さん

令和8年度、宮下地区の無火災祈願祭は4月11日、三島神社において厳かに執り行われました。

午前10時に太鼓が打ち鳴らされ、祈願祭が始まりました。

酒井佐一神社総代長、近藤勇彦宮下区長を始め、矢澤町長、会津坂下消防署三島出張所長、三島駐在所長、ほか町内各事業所の代表の方々が参集し、青木宮司の祝詞奏上のりとそうじょうの後、全員がお祓いを受けました。

その後、それぞれの代表が神前に玉串を捧げ、今年1年の町内の無火災・無災害を祈願しました。



#### 【早戸】早戸地区の神社春祭（4月12日）

橋本 光五郎さん

4月12日早戸地区にある大山祇神社と温泉神社の春祭が宮司を招いて執り行われました。

まず11時から早戸地区の氏神である大山祇神社の春祭が執り行われ、参集した氏子で地区の安全と家内安全を祈願しました。

続いて12時から温泉神社の春祭が執り行われ、温泉運営の安全と繁盛を祈念して無事に終了しました。



#### 【滝原】春の人足（4月19日）

佐久間 絹江さん

8時より、おだやかな春の陽ざしの中、住民ほか9名が林業センター前に集まり、春の人足が行われました。

冬期間、降雪で荒れた地区内の共有道路や駒形神社境内、古峰講の祠へ通じる山道と美坂への山道等、整備清掃を行いました。

各々、ナタや熊手、倒木を切る機械等を持参して行いました。

終了後は、センター内で豆腐をつまみに年度初の親睦を深めました。



### 本名光子氏が人権擁護委員法務大臣感謝状受賞



▲ 左から矢澤町長、本名光子さん、渡部信太郎福島地方務局若松支局長

4月27日、町長室において、3月をもって退任された本名光子さんに人権擁護委員法務大臣感謝状が渡部信太郎福島地方務局若松支局長より授与されました。

本名さんは、令和元年10月から6年半にわたり、人権擁護委員を務められ、特に町における人権相談や人権啓発活動では中心となって取り組まれ、町民の人権意識の普及高揚に大きく貢献されました。また、若松人権擁護委員協議会こども人権委員としても積極的に活動され、人権擁護委員の模範となる実績を残され、この功績が評価され、このたびの受賞となりました。

### 栗城佐氏が会津スポーツ協会表彰優秀指導者賞受賞

5月8日、栗城佐たすくさんが、会津スポーツ協会優秀指導者賞を受賞されました。

栗城さんは、昭和46年に自ら「三島剣友会」を設立した後、スポーツ少年団として活動を開始し、三島町における剣道の普及と青少年の健全育成に尽力されてきました。

現在も週2回、会長として団を率いながら、自ら防具を着けて子どもたちの指導にあたっています。

こうした長年にわたるスポーツ・レクリエーション活動への貢献が高く評価され、このたびの受賞となりました。

栗城さんは、「子どもたちと一緒に続けてきた活動ですが、巣立った子どもたちが町に帰ってきて近況報告をしてくれることが大変うれしく、『まだまだやらねば』と励みになります」と、今後への意欲を語っていました。



▲ 左から矢澤町長、栗城佐さん、山口教育長

### 五十嵐豊子氏が教育行政功労者表彰受賞



▲ 左から矢澤町長、五十嵐豊子さん、山口教育長

5月14日、町長室において、教育長職務代理者である五十嵐豊子さんの教育行政功労者表彰の伝達式が実施されました。

五十嵐さんは、8年以上にわたり教育委員として町の教育行政に貢献されてきた功績が認められ、このたびの受賞となりました。

五十嵐さんは、「ふとしたことからお話をいただき、続けてきましたが、思いのほか楽しく今日に至っています。今はさまざまなことがあり大変な時勢ではありますが、これからも楽しみながら務めさせていただきます。」と、今後への思いを話されました。

町長からも、「これまで町の教育にご尽力いただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします」とあいさつがありました。

【滝原】ボランティア「こぶしの会」総会（4月26日）

佐久間 絹江さん

「こぶしの会」総会では、令和7年度の反省、並びに令和8年度の計画、予算等が全員一致で承認されました。

総会終了後は、早速国道沿いのゴミ拾いを安全に配慮しながら行いました。

ドライバーのマナー向上がよく感じられ、ゴミの量も昨年より目に見えて少なかったです。

今後も地区内外の美化活動等、会員間の親睦を深め合いながら活動していく予定です。



【宮下】みんなで協力花いっぱい"運動"～町内を花でいっぱい～（5月1日・2日）

小島 純さん

宮下地区で毎年行われている「花いっぱい運動」の準備作業が5月1日、2日に行われました。

5月1日には町内一斉清掃の後、町内全戸、各事業所、小・中学校等に花の苗と培養土が配布されました。

2日には、委員、地域住民約30名の参加協力を得て活性化センター、大膳広場、駅前花壇、病院前花壇（3ヶ所）、花樹の径の5ヶ所に分かれ、花植え作業を行いました。

2日間にわたる花いっぱい運動に参加した皆様ご苦労様でした。



【西方】健やかな子の成長願う鬼子母神祭（5月5日）

本名 与四郎さん

鬼子母神例大祭は、5月5日に西方地区の西隆寺と岩倉山鬼子母神本堂で行われました。

鬼子母神本堂は標高540メートルほどの岩倉山頂上にあり、インドの故事に由来する子授けと安産、幼児保護の神様と言われてます。明治初め頃、当時の庄屋さまの家の人が重い病気にかかり、回復の見込みがない中、ある日の夢に鬼子母神さまが現れ「私を信仰せよ」と語りかけられ、一生懸命にお祈りを捧げたところ、病気が良くなったそうです。庄屋さまはこれに感謝して、霊山として親しまれていた岩倉山にお堂を建立したと伝えられています。

今年は五月晴れのさわやかな風が吹き、心地よい天候となりました。安産や子どもの健やかな成長を願い、天候に恵まれたこともあり、町内外から150名をくだらない多くの参拝客が訪れました。小さい子は親に手を引かれ、まだ歩けない幼い子は親に背負われて、険しい山道を登り参拝する習わしが受け継がれています。参拝者の中には、古いお守りを御焚きあげとして戻し、新たにお守りを買って来ました。感謝の気持ちで登って来ました」と言うことでした。また、NHKの職員が鬼子母神祭の取材に来訪し、参拝者の家族連れなどにインタビューし、当日の夕方には放映されました。

最近では見る事ができなくなった大神楽の団が鬼子母神例大祭にあわせて訪れました。恒例の場所となっている西隆寺境内では、太鼓や笛の音に合わせた軽快な神楽を見たり聞きたいために大勢の地区住民などが参集し、心地よいリズムと踊りを楽しんでいました。



「お金より 子どもの誕生 鬼子母神」 「ご祈祷で 今年一年 さすけねえ」

【早戸】「花見の会」を開催（4月25日）

橋本 光五郎さん

早戸地区では、4月25日の12時から「花見の会」を開催しました。今年は桜の散るのが早く、会場の早戸生活改善センター周辺の桜もすっかり葉桜になってしまった中での開催となりました。

しかし、冬の間は一堂に会する機会がなかったこと、また早戸地区では今年に入って新たに移住されてきた方々もいらっしゃいますが、なかなか顔を合わせる機会がなかったことから、懇親を図る良い機会となりました。



【桧原】春の神楽（4月26日）

阿部 和彦さん

春を告げる「柳津藤の和神楽」ということで桧原地区の上・下組の2ヶ所で寄席が行われ、多くの人々が来場しました。

午前8時半に獅子入れをし、御札が配られ五穀豊穡と無病息災・地区の安全と無事故を願い、春の訪れを知らせる神楽の太鼓と笛の音を響かせながら各戸を回りました。

今年は穏やかな天気にもぐまれ、下組では屋外で、上組は車庫で踊りや曲芸が披露されました

さまざまな演目に20名ほどの観客の皆さんも拍手と笑いが止まらない素晴らしい舞台でした。

爽やかな4月の最終日曜日、桧原地区の方にとって春の始まりを感じる事ができる楽しい時間でした。



【西方】なくてはならぬ春の人足（4月26日）

本名 与四郎さん

西方地区の春の人足は、4月26日の午前8時30分より正午近くまで行われました。

当日は早朝からお日様が顔をのぞかせる晴天に恵まれました。14組の隣組はそれぞれ決められている人足箇所の作業に汗を流しました。隣組によっては、出役人数が少なく、隣組み同士が協力し合う場面も見られました。今後、ますます高齢化が進み、人足を継続していくことが困難になるのではないかと危惧されます。

五十嵐正一さん宅を道なりに上って行くと、今でも使用されている貯水槽があります。その近くに銭森長者の祠がひっそりと苔生して静かに佇んでいました。貯水槽周辺の杉が多く植えられているところには土器や土偶が多数出土しているという話でした。また、祠周辺には当時の大判や小判が埋葬されているのではないかと興味・関心を持って聞き入る地区民もいました。

今では村道を歩いて山林の管理や田畑の仕事をする人も少なくなり、積雪も多かったために、倒木が道をふさいでいる箇所も多くありました。そのため、チェーンソーで人が動かせるほどの長さで切って移動していました。村中人足を通して、地区の方々の絆や交流の大切さを感じた半日となりました。



「先人は 山の麓に 田を拓く」 「ロマンある 縄文時代に 夢をさせ」



【宮下】通常総会開催される（5月20日）

小島 純さん

三島町商工会（五十嵐健二会長）の令和8年度第65回通常総会が、5月20日午前10時より三島町商工会館で行われました。五十嵐会長のあいさつの後、永年勤続優良従業員表彰が行われ、佐久間建設工業株式会社の西恭平氏（10年）、滝谷建設工業株式会社の佐々木英行氏（16年）、菅家久和氏（15年）が表彰されました。来賓祝辞の後総会に入り、議長に齋藤大輔氏が選任され、議会に入りました。議案第1号から第4号が慎重に審議され、全て承認されました。



【間方】木の駅事業間伐行われる（5月24日）

菅家 壽一さん

5月24日、混んで林内が暗くなり、下木に陽光が当たりにくくなった杉林の間伐が、NPO法人福島県もりの案内人の会津支部の会員の皆さん9名のボランティアにより行われました。支部管内の森林整備を受託し、チェーンソーの資格は勿論、プロとして働いていた者もいることから、皆さんロートルながらテキパキと伐採・玉伐りを行い、軽トラ4台分の間伐材を木の駅に運搬しました。参加した皆さんは、普通なら切り捨て間伐になる材木を、三島町では木の駅事業により、間伐材の引き取りを行っており、幾らかでもお金になることに感心していました。今後、この事業を利用される方が増え、少しでも森林の整備が進むことを願います。



【滝谷】滝谷和楽塾（5月8日）

目黒 民一さん

滝谷和楽塾では、5月8日に15人が参加して新潟県五泉市の「ぼたん百種展示園」に行ってきました。園内に足を踏み入れた瞬間に、目の前には色とりどりの華やかな花がまさに百花繚乱のごとく咲き揃い、甘い香りも心地よく感じられ、圧倒されました。その後、ラポルテ五泉、新潟ふるさと村、アグリパーク新潟のJA直売所に立ち寄りお土産等を買いました。帰りのバスの中では早くも来年の旅行の計画などの話に花が咲き、和気あいあいとしたなか帰路につきました。



【桧原】ボランティア桧原「美化活動」（5月10日）

阿部 和彦さん

本年も「ボランティア桧原」参加者18名で地区内美化活動が実施されました。地区内町道上下から県道、国道約4kmを3グループに分かれて道路脇のゴミ等を拾うクリーンアップ活動を行いました。開始前に庶務係から作業の手順と「事故、怪我、熱中症に気を付けて行ってください。」と説明があり、暑さ予防のためのお茶が配られ、集会所からそれぞれのコースに出発しました。集めたゴミ5袋、不燃ゴミ2袋と、昨年より量が増加していました。環境に対する美化意識が高まってきているのに残念な事です。そして、途中の道路沿いの藤の花がとても早く咲いていたのには驚きました。



また、夕方6時から令和8年度の総会が開催され、15名が参加して令和7年度の事業報告・収支決算報告、新年度の事業計画並びに予算案が承認されました。交流会では今年度も皆で楽しく活動し、少しでも長くボランティアを継続していきたいと話がありました。

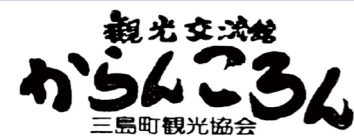
【西方】継続に意味のある配食サービス弁当（5月12日）

本名 与四郎さん

5月12日に、ボランティアいわくら会の皆さんによる「配食サービス弁当」作りがふるさとセンターで行われました。当日は、いわくら会員12名が午前9時から調理室に集合し、早速、配食サービス弁当の調理に取りかかりました。献立のメニューは、ごはん（ごま塩）、煮物（さつま揚げ・人参・高野豆腐・こんにゃく・椎茸）、揚げ物（鶏唐フライ・海老フライ・レタス、ミニトマト）、卵焼き、里芋餅、絹厚揚げのあんかけ（しめじ・ミックスベジタブル）、ほうれん草、カニかまのごま和え、果物（イチゴ）、絹厚揚げのあんかけと色どりの良い、お腹を満たすには十分で豪華な盛りつけとなりました。今回も、85歳以上のひとり暮らしの高齢の方を対象に26食の弁当が作られました。元気に初夏を過ごしていただくように、栄養バランスに配慮しながらの弁当がテーブルいっぱいになりました。作り上げられた弁当は、会長の小松豊さんなどの協力のもと、一軒一軒、家庭を訪れ、手から手へと手渡ししながらの、心温まる配食サービス弁当となりました。心待ちにしている高齢の方が大半で、感謝の気持ちで受け取っていました。



「手作りの 弁当だから うまいです」 「自分のため みんなのための ボランティア」



第183号

〔三島町観光協会・観光交流館からんころん〕
営業時間 8:30～17:30 定休日/月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下214-5
☎0241(48)5000 FAX:0241(42)7072 メール:mishima@oboe.ocn.ne.jp



只見線臨時列車が運行されます！

6月13・14日開催の第40回「ふるさと会津工人まつり」にあわせ、只見線臨時列車が運行されます。停車駅・運転時刻は下記のとおりです。
※全車自由席、時刻などは変更になる場合がありますのでご注意ください。

【停車駅】

会津若松駅、西若松駅、会津坂下駅、会津柳津駅、会津宮下駅

【運転時刻(発車時刻)】

〔下り〕会津若松10:35 会津宮下11:43 会津川口12:08

〔上り〕会津川口14:00 会津宮下14:30 会津若松15:45

ツアー列車「令和版急行いなわしろ号」が走る

国鉄時代、多くの人に愛された「急行いなわしろ」が令和版として再現・運行されます。ツアー限定の記念乗車証や弁当などの特典付きです。ぜひご利用ください。

【運行日】6月20日

〔往路〕仙台10:56 郡山13:00 会津若松14:30

会津宮下15:33/16:03 会津川口16:27

〔復路〕会津川口17:54 会津若松19:24

三島町・奥会津関連の行事・イベント情報

- 6/6 只見線応援団総会/会津若松 ※団員対象 ☎0242(93)5155(只見線管理事務所)
6/7 志津倉山開き/志津倉山
6/13 ふるさと会津工人まつり/生活工芸館前ナラ林
山と木の市場/佐久間建設工業(株)森林事業部敷地内
てわっさの里まつり/宮下・荒屋敷
宮下そばまつり/宮下活性化センター
美しい手しごと展/宮下温泉栄光館 ※6/12～
6/20 「令和版 急行いなわしろ号」/只見線
【開催中】 三島町周遊バス 6月末までの土・日曜日
※6/13・14はイベントのため運休

6月のからんころん茶屋

Table with 2 columns: 茶屋営業日, メニュー. Includes items like みやしたそばの会 and prices for different portions.

新生活のスタート！

地域おこし協力隊

活動誌



柴沼 幸子

【活動内容および状況】

地域おこし協力隊（アカデミー生）に着任した4月、まずは地域に馴染むため浅岐地区を訪問し、写真入り自己紹介チラシを配布しました。海沿いの茨城県ひたちなか市から移住した私にとって、山々に囲まれた三島町の景色はすべてが新鮮です。住民の方々の温かい歓迎に触れ、この地で暮らす実感が少しずつ湧いています。



▲くるみの皮をむいて乾燥させている様子

下旬には材料採取の工程として、くるみの採取と皮むきを経験しました。まず枝の見分け方を教わり、葉の出ている先端から節や枝分かれなどを見て、三年目の枝を判別してのこぎりで切り出しました。太い枝を切る際は背中に汗をかくほどでしたが、何本か切っていくうちに、のこぎりを動かす一定のリズムが少しずつつかめてきました。採取後はその場をきれいに整えてから山をあとにし、素材への感謝を大切に三島の精神を身をもって学ぶことができました。

【今後の課題・抱負】

5月からは、切り出したくるみの皮が手提げに生まれ変わる工程を楽しみながら習得したいです。畑作業にも挑戦し、三島の暮らしをさらに深めていきます。

工人まつりは今年で40回を迎えます！

～来る6月13日(土)・14日(日)の2日間～



三島町を代表するイベントの一つ「ふるさと会津工人まつり」を開催します。

初回は生活工芸館竣工の翌年である昭和62年に始まり、当初は20組程度の出展からスタートしたと伝えられています（担当者も代々引き継がれてきました）。この工人まつりは、町民の皆さま、出展者の皆さま、そして多くの関係者のご協力に支えられ、今年で節目となる第40回を迎えます。これまで工人まつりを支えてくださった皆様に改めて感謝申し上げます。

今後も、より魅力的で快適なイベントとなるよう努めてまいります。

今年の出展者は、西は熊本県から北は秋田県、さらに台湾からも参加があり、約150組の工人の皆さまをお迎えます。生活工芸館ホームページおよびInstagramで出展者情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

出展数は昨年とほぼ同数ですが、約50組の入れ替えがあり、初出展の工人さんも多数参加します。実演やものづくり体験を行う工人さんもおりますので、ぜひお楽しみください。

ご来場については、臨時駐車場からシャトルバスでのご案内となります。会場周辺の混雑が予想されますので、時間に余裕をもってお越しください。

工芸館だより

58

～ものづくりの伝承～



vol.111

健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

体の中は、自分の目では確認できません！

日本人の死因の約5割は生活習慣病（高血圧、糖尿病、高脂血症など）です。健診は生活習慣病の早期発見、悪化の予防・改善をするために実施しています。自分では自覚できない症状や忍び寄る病気を見逃さないためにも、とても大切な機会になります。

三島町の総合健診では以下の健診が受けられます

- ◆特定健康診査（40歳から74歳の方） ◆健康診査（19歳～39歳の方）
- ◆後期高齢者健康診査（75歳以上の方） ◆各種がん検診（肺、胃、大腸、前立腺）

【検査項目】

身体計測、血圧測定、尿検査、心電図、眼底検査、血液検査、医師による診察

☆三島町は心電図や腎機能の検査（eGFR）、

尿中塩分摂取量（1日に摂っている塩分の推定量）なども健診項目として取り入れています

普段受ける機会が少ない検査も受けるチャンス！

健診結果について

7月下旬から8月上旬にかけて、健診結果説明会を各地区で実施し、皆さんに健診結果をお渡しする予定です。その後、生活習慣病のリスクが高い方には順次保健師、栄養士、看護師がご自宅に訪問します。生活習慣の改善や、運動、食事の取り方、受診の目安など一人ひとりに合わせたアドバイスをしていきます。

健康への第一歩！

年に1回は健診を受け、自分の体と向き合ってみましょう。

新刊図書のご案内

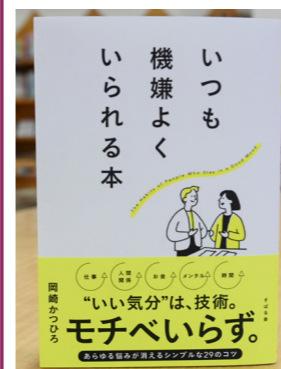
町民センターゆめぼけっと

※本の貸出し期間は2週間です。次に利用される方のためにも、返却期限を守りください。

☎ 公民館 ☎ (48)5599

●今月のおすすめ

いつも機嫌よくいられる本



岡崎 かつひろ 著

我々の気分は、そのまま何かをするときのパフォーマンスに影響する。…ということは、人生を好転させるには「ひとつのシンプルな方法」があるということに気づく。

それが「機嫌よくいる」ということ。

これまで20万人以上に良い影響を与えてきた筆者が、自分の機嫌を取るスキルを29、あますことなくまとめた1冊。

●その他図書の紹介

「ほんとうのこと」は、親にはいえない



木村 泰子 著



# 国環研だより 第94回 地球温暖化で増加する大雨に備えよう

三島町の皆さま、こんにちは。6月に入り、梅雨の季節となりました。近年は全国各地で大雨による災害が頻発しており、皆さまもその影響を実感されていることと思います。こうした背景には、地球温暖化をはじめとする気候変動の影響があり、将来的には激しい雨がより増えていくと予測されています。

## ■地球温暖化で大雨が増える仕組み

気温が上がると海水も温められ、それに伴って空気中に含まれる水分(=水蒸気)が増えます。水蒸気は雲のもとになるため、雨雲がより発達しやすくなります。

その結果、短い時間に大量の雨が降る「集中豪雨」が起こりやすくなります。こうした雨は、これまで想定されていた雨の量を超えることがあり、河川の氾濫や土砂災害につながるおそれがあります。

令和元年東日本台風(台風第19号)では、福島県内でも河川が氾濫し、大きな被害が発生しました。



図：地球温暖化によって大雨が増加する仕組み  
(出典：環境省パンフレット「深刻化する豪雨～我々はどうのようリスクに直面しているのか～」)

## ■気象災害に対する「適応」という考え方

気候変動への対応には、「温室効果ガスを減らす取り組み(緩和)」と並んで、「適応」という考え方があります。適応とは、すでに起きている、またはこれから起こりうる気候変動の影響に対して、被害をできるだけ小さくするための備えや工夫のことです。

私たちができる災害への適応の方法として、一つ目は、気象や災害の情報が出た際、その意味を正しく理解し、行動につなげることです。例えば台風が近づいている場合には、規模や進路、いつ到達するのかを確認し、避難が必要かどうかを判断しなくてはなりません。二つ目は、家庭や地域で防災の備えをすること。食料や水の備蓄、避難経路の確認に加え、ご近所さんや地域に支援が必要な方がいないかを気にかけることも大切です。三つ目は「今まで大丈夫だったから」という考えをなくすことです。この数十年で気候は変化しており、これまでは安全な地域だったとしても、今後も安全とは限りません。

三島町でも2011年の集中豪雨により只見川が氾濫し、大きな被害が発生しました。そのため、防災意識の高い方も多いかと思いますが、気候変動の影響で、「これまでの常識」が通用しない場面が増えています。日々のニュースを確認しながら、気候変動の影響を意識することが大切です。

## 【参考文献】

- ・環境省『パンフレット「深刻化する豪雨～我々はどうのようリスクに直面しているのか～」を作成しました。』  
[https://www.env.go.jp/press/press\\_01295.html](https://www.env.go.jp/press/press_01295.html)
- ・環境省 ekojin『猛暑や大雨によって起こる災害にどう備える？気候変動の観点から、防災について考えてみよう』  
<https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/feature1/20231004.html>



筆者 ときわ たつひこ  
常盤 達彦

問 国立環境研究所福島地域協働研究拠点  
地域環境創生研究室 ☎0247(61)6572

# 町史編さん室だより

明治22年(1889)、宮下・桑原・大登・川井が西川村に、松原・滝谷が原谷村に、大谷・浅岐・間方が三谷村として合併、各村が独立しながらも一部事務を共同で処理する組合をつくり、西川村外二ヶ村組合(以降、組合村と表記)として自治を行いました。村長は3村それぞれに在るわけではなく、組合長がいわゆる自治体の長としての職務を担いました。

町役場に遺された写真とともに、今回から数回かけて、組合村の歴代組合長、そして宮下村の村長を簡単に紹介していきます。

初代の馬場庄作は父である庄平とともに沼田街道の開修(明治10年代後半から20年代)に尽力しました。父と同様に福島県議員も務めており、その任期の一部が組合長の任期と重なっています。

2代の細川熊太郎は、沼田街道開修の文書等に宮下の惣代として名があり、有力者であったことがうかがえます。かつて宮下にあった細川旅館の家の者だと遺された資料から推察できます。大沼郡会議員も2期務めており、その任期は組合長の時期と重複しています。

3代の渡部禎二は数ヶ月ですが県議員も務めたことのある人物で、沼田街道の開修に尽力、大登の中川井に頌徳碑もあり、さまざま

5代	4代	3代	2代	初代
田淵 藤四郎	小川 常弥	渡部 禎二	細川 熊太郎	馬場 庄作
坂下町	野沢村	大 登	宮 下	大 登
明治36年6月20日 ～ 明治40年6月20日	明治35年1月17日 ～ 明治36年5月12日	明治33年8月5日 ～ 明治34年8月30日	明治25年9月24日 ～ 明治33年4月30日	明治22年8月1日 ～ 明治25年8月28日

まな功績を記した調書も町に遺されていることから、その活躍が後世に比較的伝わっています。  
4代の小川常弥は士族で、明治29年(1896)には、野沢村外二ヶ村組合(現西会津町)で助役、31年には組合長を務めています(『会津五郡名家鑑』、『西会津町史』、出身は若松とも記述)。  
5代の田淵藤四郎は大正10年(1921)から15年にかけて本郷町長として同姓同名の人物がいますが、『福島県肖像録』『本郷町史』、同一人物かは断定できません。昭和43年刊行の『三島町史』に坂下町とありますが、それが出身であるのか以前の赴任地を示したものかも定かではありません。(町史編さん室)

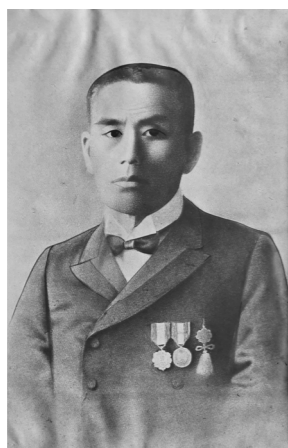
# 第125回 西川村外二ヶ村組合の歴代組合長(1)



初代 馬場 庄作



2代 細川 熊太郎



3代 渡部 禎二



5代 田淵 藤四郎

▲ 4代の小川常弥は写真が遺されていません。

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。 ☎(52)2165

宮下病院からのお知らせ

赴任のご挨拶

宮下病院 内科 佐藤 理子

4月より赴任致しました佐藤理子と申します。3月までは会津医療センターで勤務していました。専門は呼吸器内科です。皆様のお力になれるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

☎福島県立宮下病院 ☎(52)2321

町からお知らせ

6月分納税のご案内  
【納期限 6月30日(火)】

▼町県民税 (普通徴収) (第1期)  
忘れずに納付ください。

☎町民課 町民係 ☎(48)5555

ご寄附ありがとうございました

ふるさと納税 (3月分)

誼 江 霞 純 様 (埼玉県)  
寄附件数 2 件 計 41,000 円

お悔み申し上げます

五十嵐 武 次 様 (83才・大石田)  
若 林 日出子 様 (88才・滝 谷)  
五十嵐 重 雄 様 (85才・大石田)

町の人口と世帯 (5月1日現在)

人口	1,264	増 減 数	-5	出生	0
男	635		0	死亡	4
女	629		-5	転入	3
世帯	660		0	転出	4

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

ひまわりサロン	6月8日(月) 午前10時から 町民センター	高清水・小山 いきいきサロン	6月18日(木) 午前10時から 高清水集会所
桧原はつらつクラブ	6月9日(火) 午前10時から 桧原集会所	滝谷和楽塾	6月23日(火) 午前10時から 滝谷集会所
間方いきいきクラブ	6月9日(火) 午前10時から 間方集会所	浅岐あつたかサロン	6月23日(火) 午前10時から 浅岐集会所
川井友愛サロン	6月10日(水) 午前10時から 川井集会所	ほがらかサロン	6月25日(金) 午前10時から 森の校舎カタクリ
大登サロン	6月15日(月) 午後1時30分から 大登生活改善センター	サロンなごみ	6月26日(金) 社会見学
		サロンないり	6月29日(月) 午前10時から 名入集会所

町社会福祉協議会へのご寄附  
(ご遺志によるもの)

小 椋 藤 男 様 (大石田)  
若 林 信 也 様 (滝 谷)  
五十嵐 重 晴 様 (大石田)

☎社会福祉協議会 ☎(52)3344

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ三島通信  
で健康教室を放送中です。  
6月「肺炎球菌ワクチンの最新  
情報」です。  
ぜひご覧ください。



☎福島県立宮下病院 ☎(52)2321

会津坂下警察署からのお知らせ

悪質商法から身を守るために

悪質商法に関する相談が多数寄せられています。  
突然訪問してくる業者の話やSNS等での誘いを  
安易に信用することなく、契約については慎重に行  
いましょう。

こんな手口に要注意

<b>訪問販売</b>	自宅を訪問してきた業者から点検を受け、「分電盤が壊れている。」「このままだと漏電や火災が起きる。」等と言われ契約した。 ➔ 交換の必要のない工事にもかかわらず、高額な工事費を請求された。
<b>訪問購入</b>	突然、不用品買取業者から電話がきて、不用品の買取を依頼したところ、訪問者に「貴金属はないか?」と強く言われ、恐くなりネックレスや高級腕時計を売却した。 ➔ 高価な貴金属を安い値段で買い取られる。
<b>SNS型投資詐欺</b>	SNS等やマッチングアプリで知り合った人から、「元本を保証します。」「必ず儲かります。」等と儲け話をもちかけられ、投資した。 ➔ 相手と連絡が取れず、お金も戻ってこない。



・訪問業者等の言葉を鵜呑みにせず、契約を締結する前に、家族等に相談しましょう。  
・業者の勧誘で困っているときは、110番や最寄りの警察署等に通報してください。

☎会津坂下警察署警務係 ☎0242 (83) 3451

消防署からのお知らせ

「危険物安全週間」の実施について

危険物安全週間  
6月7日(日)～6月13日(土)

危険物安全週間とは?

今日、石油類をはじめとする事業所において幅広く利用される危険物については、その安全確保の重要性が益々増大しています。  
平成2年に消防庁により制定され、以来毎年6月の第2週(日曜日から土曜日までの1週間)に各種事業所における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、広く国民の危険物に対する意識の高揚と啓発を図ることとしたものです。

ガソリン、灯油、軽油などの危険物を正しく保管・取扱いし事故を未然に防ぎましょう!

あなたの命を守る  
マイナ救急!

マイナ救急とは?

119番通報で駆けつけた救急隊員は、搬送されるご本人の名前や生年月日等の基本的な情報のほか、かかりつけの病院やこれまで服用しているお薬などの様々な情報の聞き取りを行います。  
これらの情報は、搬送する病院の決定や救急車内での処置、病院到着後にすぐに治療を始めるための準備などに役立てられており、ご本人の命を守るために欠かせない情報となります。  
一方で、病气やけがで苦しむご本人や、気が動転しているご家族の方から、これらの情報を正確にお伝えいただくことは、場合によっては困難なこともあります。  
マイナ救急では、救急隊員がご本人のマイナ保険証を活用し、傷病者が過去に受診した病院や処方されたお薬などの医療情報を閲覧します。ご本人や付き添われるご家族の方の負担を軽くするとともに、傷病者の方がより適切な処置を受けるのに活用します。

マイナ保険証があれば、話すのがつらい時、自分の薬を忘れた時でもより適切な処置を受けられます。

あなたの <b>病歴</b>	お薬の <b>処方箋</b>	病院の <b>受診歴</b>
-------------------	-------------------	-------------------

☎会津坂下消防署 三島出張所  
☎(52) 3032 / FAX (52) 3033

第40回

# 「ふるさと会津工人まつり」開催！

「ふるさと会津工人まつり」は、全国から多くの工芸作家が集う、三島町を代表するイベントです。木工や陶芸、ガラス、布製品など、手仕事のぬくもりあふれる作品が一堂に会し、作り手と直接ふれあいながら購入できるのが大きな魅力です。

当日は、実演や体験コーナーも行われ、ものづくりの楽しさを身近に感じることができます。また、地元の特産品販売や飲食ブースも並び、多くの来場者でにぎわいます。

自然豊かな三島町で開催される本まつりに、ぜひお越しください。

期 日	6月13日(土)・14日(日)
時 間	13日(土) 9:00～16:00 14日(日) 9:00～15:00
会 場	三島町生活工芸館前ナラ林広場
内 容	・工芸品の展示即売 ・手作り工芸品作家との体験交流 ・飲食ブース
問合せ	三島町生活工芸館 ☎(48)5502



同時開催

- てわっさの里まつり【宮下地区】
- 山と木の市場【佐久間建設工業(株)森林事業部】
- 宮下そばまつり【宮下活性化センター】
- 美しい手しごと展【宮下温泉栄光館】

## 町長スケジュール

### 6-7月

月日	曜日	予 定 公 務
6/8	月	会津若松建設事務所地域づくり懇談会
13	土	ふるさと会津工人まつり（開会式あいさつ）
18	木	三島町議会定例会
19	金	三島町議会定例会
22	月	只見川電源流域振興協議会総会および 奥会津五町村活性化協議会総会
25	木	只見川ライン観光協会総会
7/3	金	議会全員協議会

### 三島町公式インスタグラム

三島町では、4月より公式インスタグラムを開設しました。

観光やイベントの情報を発信しておりますので、ぜひアカウントをフォローのうえご覧ください。

投稿への「いいね」やリポストでの拡散にも、皆様のご協力をお願いいたします。